

2021年12月10日発行

# 第101号

認定特定非営利活動法人  
ハーモニーネット未来  
(旧：子ども劇場笠岡センター)  
〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 5909  
TEL (0865) 63-4955  
FAX (0865) 63-4950

E-mail:kodomo1@kcv.ne.jp http://hamomira.or.jp/

## ひとり親家庭・生活困窮家庭のための

# 『いのちまるごとプロジェクト事業』

2016年、日本では「6人に1人の子どもが貧困状態にある」という報道に、「この豊かな日本に!？」と驚きの声が上がったことを思い出します。

現在、子どもの相対的貧困率は13.9%、およそ7人に1人が貧困状態にあり、この数字は先進諸国に比べても高い水準だということです。また、ひとり親家庭の貧困率は50.8%と、半数が貧困状態にあるという状況となっています。

これに追い打ちをかけているのが、現在の新型コロナウイルス感染拡大です。

新型コロナウイルス感染の長期化に伴い、仕事なくなる、収入が減る、特に影響を受けているのは、女性、ひとり親家庭といわれ、金銭・食に対する不安、先の見えない精神的な不安の両面に寄り添うことにより生まれる「安心感」を提供する必要性を実感しています。

また、自粛生活が続くことでDV被害、虐待等家庭内トラブルも増えているのも現状であり、安全で安心できる住居を提供することもコロナ禍での必要な支援であると考えております。

コロナ禍における親子が経済的、精神的に自立し、自らエンパワメントすることで、人生に希望をもち歩んでいく未来を描き、親子に寄り添い、伴走的なサポートを続けていきたいと思っております。

いのちまるごとプロジェクト事業

フード&ライフドライブ活動「てとて」


Deliver the true heart

**必要な人に 必要なものを 必要な数だけ**

フード&ライフドライブ活動「てとて」は、企業や地域の人から集まった食べものや日用品を必要な人へお渡ししています。手から手へ、まごころをこめて。

お問い合わせ先

認定NPO法人ハーモニーネット未来内  
「いのちまるごとプロジェクト」事業部  
〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 5909  
☎ 0865-63-4955 ☎ 0860-2900-6078  
E-mail:kodomo1@kcv.ne.jp  
http://hamomira.or.jp/



このチラシは、株式会社未来通信に著作権を自己所有の財産として、公益社団法人はーず・子どもドリーム・ジャパンによる助成を受けて発行しました。  
2021年4月印刷

食料支援等で貧困問題がすべて解決するとは思いませんが、「あなたはひとりではないよ 応援しているよ」と言える関係性を確立し、同時に、貧困という個人の課題を社会全体の問題としてとらえ、行政、企業、各種団体、多くの市民等、多様な主体による支援体制の仕組みを構築していきたいと心より願っております。



**【目次】**

いのちまるごと・・・P1  
 児童館・・・P4  
 子育てひろば「あおぞら」 P5  
 舞台鑑賞・・・P6～7  
 本が好き・・・P8  
 食卓に吹く風・・・P9  
 子どもの貧困・・・P10～11  
 お知らせ・・・P12

ひとり親家庭・生活困窮家庭のための

## ■いのちまるごとプロジェクト事業

### ■事業概要



### フード&ライフドライブ活動「てとて」

現在、コロナの影響により共生型子ども食堂「日ようびの昼ごはん」が開催できないため、フードバンクや企業、個人からのご寄付頂いた食料&日用品を必要なご家庭に毎月一回お渡ししています。

また、家庭の事情により直接配付場所に来られない世帯には、配送をしております。

※今まで配布・配送を行った地域は井笠地域の他に、高梁市・新見市・岡山市・倉敷市などです。



### オンライン学習「みらい」

コロナ禍において経済的に困難な環境にある家庭が増えてきている中、子どもたちが、その家庭環境に左右されることなく、楽しく日々の学習ができるようサポートするしくみです。

一世帯に1台の専用タブレットを無料で貸し出し、子ども一人ひとりに合わせた内容でオンライン動画とテキストによる学習を行います。

※ご家庭にインターネット環境がない場合は、ご相談ください。



### シェアライフ「ハーモニーはうす」 (ステップハウス)

母子が人生の再スタートをするために必要な仮の住まい（ステップハウス）を提供します。

ハーモニーはうすは女性の「自立」という方向性を持ち、短期～中期利用出来る共同住宅です。

- 対象者：ひとり親家庭（母子）・DV被害者等
- 利用料：当法人規定による

■11月ご寄付いただいた  
企業・地域のみなさま

(順不同)

- 日本食研株式会社さま
- 株式会社天塩さま
- マルナカ笠岡店さま
- 奥山営農組合さま
- サン・クリーン(有)さま
- 西江稔さま
- 中外製薬
- ウエルネットクラブさま
- 株式会社ローソンさま
- 中越パルプ工業(株)さま
- コープ鴨方店さま
- 株式会社
- ルーム・ワコーさま
- 有限会社たかた採卵さま
- 坂本産業(株)さま
- 一般社団法人
- 全国フードバンク推進協議会さま
- 社会貢献型ショッピングサイト  
KURADASHI さま
- 有限会社アルデバランさま
- 株式会社 Deye さま

その他  
個人のみなさま

本当にありがとう  
ございました!!

必要な人に  
必要なものが  
必要な数だけ  
届く仕組みを  
作ります!

毎月行っておりますフード&ライフドライブ活動「てとて」では、「おなかいっぱい食べる幸せ、食べ物がある『安心感』の提供」を目的に、ひとり親家庭・生活困窮家庭等へ食品・日用品を配布、配送しています。

お渡しする食品等はフードバンク活動を活用し、毎回、企業や地域の皆さまからご寄付頂いております。心より感謝申し上げます。

今後も、手から手へ、皆さまからのあたたかい想いを届けていきたいと思っております。引き続き、いのちまるごとプロジェクト事業へのご寄付をよろしくお願いいたします。



## ■行事報告

### 児童館イベント

#### ■『星をみよう!』

11月13日(土)

17:30~20:00

場所：大井児童館

参加者：幼 児 8名

小学生 21名

大 人 26名

計 55名

講 師：二村徳宏さん

原田浩さん

(美星スペースガードセンター)

ボランティア：4名

毎年大人気企画の「星を見よう」は、講師に美星スペースガードセンターを迎え、親子で星座を探し、夜空を眺め、月や星など宇宙への興味を広げる機会としてもらいたいと実施しています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、秋の観望会となりました。

昨年同様、工作は行わず、すべて園庭でのイベントとし、感染予防対策にも参加者全員の協力もあり、安全に星空観望を楽しむことができました。

児童館の壁をスクリーンに、月食の仕組みや新星発見などの映像は迫力があり、幼児から大人まで集中し、興味をもって講師の話を聴くことができました。

観望中、次第に雲が晴れ、月や土星、木星もよく見ることができ、『天体望遠鏡で見ている星があんな星だよ』と、空を指さして教えてもらい、『肉眼で見れると思っていなかった!』と驚く親子、また、『今年で9回目の参加です』という常連の親子もいました。

講師による、専門性や科学工作の楽しさなどの内容から、宇宙への興味の入り口になるだけでなく、関心を深めることができるイベントとなりました



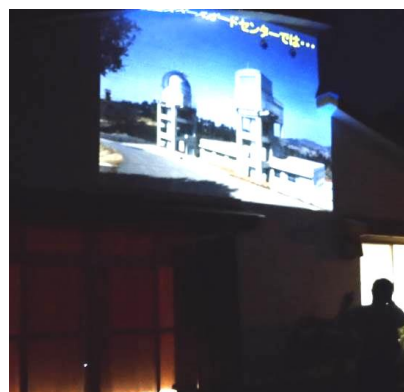
月のウサギが見えたよ♡



2台の天体望遠鏡で観望☆  
月のクレーターを見た!  
次はあっちで土星の環っかだ!



前日から夜の冷え込みが厳しくなり、  
しっかり防寒対策をして参加!、  
でも、アンケートを書くころには  
手がかじかんで震える子もいた。



児童館の壁に映し出された映像は  
迫力満点!

## ■行事報告

子育てひろば「あおぞら」

### ■「消防署に

見学に行こう！」

日時:11月15日(月)

10:30~11:30

場所:笠岡消防署

参加者:大人11名

子ども12名

暖かなよいお天気の中、笠岡消防署へ見学に行き、子どもたちの好きなはしご車やポンプ車をみせてもらいました。

放水体験では、手に持ったホースに水が通ると、ホースが棒のように固くなり、大騒ぎで親子でさわっていました。

子どもたちは、小さいサイズの消防士さんの服を着せてもらい、カッコイイ姿で写真撮影、消防車にも乗って写真を撮をたくさん撮りました。

普段は見る事ができない、30mの高さまで伸びるはしご車に、参加した親子たちから、「わーすごい！カッコイイね！」と感激の声！

子どもたちの憧れの消防車を間近に見ることができ、うれしそうにキラキラした眼差しでみている姿がとても印象的でした。



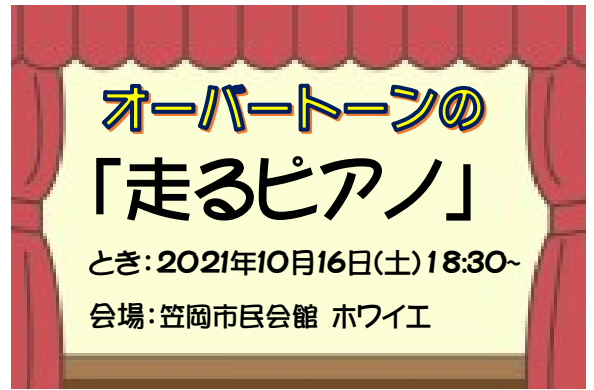
ホースがかたいね！



はい、ポーズ!!



舞台鑑賞の  
かんそう



すごく じゅうくんのさかだちが  
すごくじょうずだったです。 けんと (小1)

たのしかったです。のりのりでした。 みずほ (3歳)

すごくいろいろなことがあって面白かったです。  
すごくじょうずだったです。 りりか (小5)

とても楽しいパフォーマンスで、ずっと笑っていました。  
おもしろいかけあいをしてながら、演奏は本格的で素晴らし  
かったです。久々に楽しい時間が過ごせて、とてもうれし  
かったです。また見せてください。 みほこ

久しぶりに例会に来て思いきり笑いました。  
楽しかったです。 けいこ

のしい動きで笑えました。たのしいじかんをありがとう！

バラエティーゆたかでおもしろかったです。  
たかのり (小6)

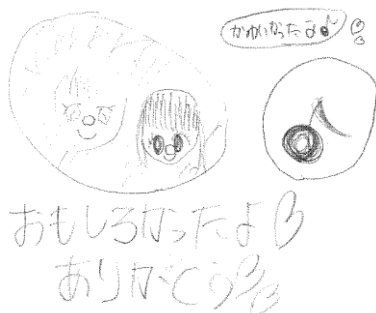


コロナもあって、ぜんぜんイベントもなく、出  
かけることもなくなった最近で、本当に久々の  
子どもとの喜ぶイベントでした。素敵なものを  
ありがとうございました。 ゆうこ

つらいこと 悲しいこと 苦しいことが個人的に続  
いていて……。今日は笑いありで、楽しい時が過ごせ  
ました。元気が出ました。ありがとうございます。  
ゆうきの母

ことばをしゃべらずに、いっぱい笑わせてい  
てすごいと思った！これからもがんばってくだ  
さい。おうえんしています。 けいな (小2)

いやされました表情が豊かでとても楽しかったです。  
また見たいです。



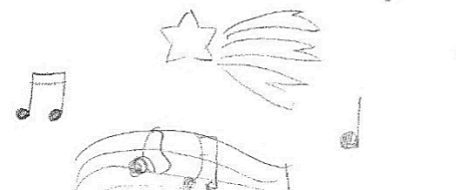
缶バッチがキラキラの  
スペシャルのやつが出た  
から、うれしかったです。  
有名な曲とかもでてきて、  
楽しかったです。 ゆな (小6)



すっごく良かったです。  
子ども達に見せてとても  
良かった。みんなに見てほしいで  
す。紹介したいです！



楽器の音色がとてもきれいで、とてもおもしろ  
かったです。写真もとってもらえてうれしかったです。  
たくさんの笑いをありがとうございました！ トワ



生演奏の音楽が良かったです。クラウンもとっ  
てもかわいらしかったです。楽しい時間ありが  
とうございました。

かんばっちで「OK」のが出てよかったです。けんぼんの  
時、すごーくきんちょうして足がふるえました。でもき  
ちょうなけいけんができてうれしいです。ここな (小6)

2021年12月の舞台鑑賞



にんぎょうげき

# はれときどきぶた

矢玉四郎作「はれときどきぶた」  
(岩崎書店刊) より

人形劇団 ひとみ座



きょうの天気は、はれときどきぶたでしよう。



2021年

**12月10日** 金

開演：18:30  
笠岡市保健センター  
ギャラクシーホール

チケット取り扱い・お問い合わせ  
認定NPO法人ハーモニーネット未来  
TEL: 0865-63-4955  
✉ kodomo1@kcv.ne.jp

笠岡

2021年

**12月11日** 土

開演：18:30  
玉野市総合体育館  
レクレーション 玉野市玉2-3-1

チケット取り扱い・お問い合わせ  
玉野・灘崎子ども劇場  
TEL: 0863-32-0405  
✉ tamosakiko@yahoo.co.jp

玉野

2021年

**12月12日** 日

開演：14:30  
百花プラザ多目的ホール  
岡山市東区西大寺南

チケット取り扱い・お問い合わせ  
NPO法人みんなの劇場・おかやま  
TEL: 086-942-1544  
✉ info@npo.sakuraweb.com

岡山

チケットはWebページからも予約できます



各会場 開場：15分前  
上映時間：1時間

参加費 **2,000円** 子ども：**1,000円**(18歳以下) **3歳以下：無料**  
※子供会や学童など団体で鑑賞をご希望の方は団体割引があります。詳しくはお問い合わせください。



イメージキャラクター「ももしろ」



鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来！」

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」  
主催：公益社団法人日本芸術家団体協議会 鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来！」実行委員会  
NPO法人みんなの劇場・おかやま 玉野・灘崎子ども劇場 認定NPO法人ハーモニーネット未来

後援：岡山県・岡山市・玉野市・笠岡市・津山市・岡山市教育委員会・玉野市教育委員会・瀬戸内市教育委員会・公益社団法人岡山県文化連盟・公益財団法人福武教育文化振興財団  
山陽新聞社・朝日新聞岡山総局・毎日新聞岡山支局・読売新聞岡山支局・産経新聞・中国新聞備後本社・NHK岡山放送局・RSK山陽放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送  
KBS瀬戸内海放送・TSCテレビせとうち・FM岡山・レディオモモ・時事通信社岡山支局



## ■山本昌知先生のこと

— 共に歩む地域精神医療 —

### ■小角靖子



日本評論社 出版

### ■「ひきこもり」を どう考えるか

### ■ひきこもりの支援 について

### ■「縁」について

### ■専門家に読んで ほしい詩

2021年8月に「山本昌知の臨床作法」という本が出ました。いろんな人が山本先生と出会った経験を語っている面白い本です。この本の編集者ははたして本が売れるか、また、文字で山本先生が伝えられるかとても心配したと言っています。

山本先生が有名でないのと、治療と人格が合体していて、説明してもしつこい内容があるからです。

コロナ禍でも、85歳の山本先生は当事者との面談を休まず、毎日電話の洪水の中で暮らしておられます。出会った悩み苦しむ人達と、まさに一緒に行こうというのが山本先生なのです。

私はこの夏、先生にインタビューする機会に恵まれました。正直「やった！、間にあった」と思ったのです。そのインタビューの一部をご報告します。

自分に刃が向けられ、傷つけられたとき、向かって行く人もいるだろうが、たいていの人には逃げる。その時、逃げ遅れて、もっと頑張ろうとしてしまい（世の中に過剰適応してしまい）命が危なくなって、人はひきこもる。

ひきこもりとは、逃げ遅れた人。要領のいい人、ほかの人のことはどうでもいいという人はひきこもりにはならない。彼らは人も傷つけないし、自分もこれ以上傷つけられたくないと思っている。

親御さんは、どうしていいかわからず相談にやってくる。

その親御さんの気持ちは、気持ちで聴いてあげる。その上で、本人にも親御さんにも余裕のある時、「専門家のところへ行ったら、どうしたいかは本人が一番よう知つとるから、本人に尋ねてくれ」と言ってもらい、本人のその時の返事を教えてもらう。

ひきこもりの人は、まわりから、いつまでも家にいてはいけないとか、社会と接点を持てとか、あせい、こうせいと言われ続け、自分の意見を聞かれたことがない。尋ねられてショックをうける。そこからはじめるのが支援のはやみちだと思う。

人間関係というのは、パターン化する。親子や友人、会社の人間関係のパターン化したものをいったん壊し、そして本人はどうしたいかという、本人の意思というものを聞き出す。

親御さんの期待や社会の要請、一般常識というものにひっぱられて自分は駄目だ、というのではない自分が現れるのを手伝うのが支援者の役割。

親御さんが困ってやってくる、ここでひとまず「縁」というものができる。当事者のところへ何遍も足をはこんで、話せるようになると、本人と「縁」が出来たということになる。うまくいかんときもあるけれども、「縁」ができたなら、お互いどちらか亡くなるまで「縁」を続ける覚悟があるかどうかだ。「縁」というのは長く続けば続くほどいい、経験したらわかってくる。

世間の求める「ふつう」ではなく、自分の「ふつう」を見つけて、それを実現する為に「縁」を結ぶ。

ある人が高校2年の時出会ってから10年たったとき、外来に来てこういった。「10年、ようもよういじめてくれたな。僕の10年を返してくれ」。

自分と一緒に花札もして、関係をつくり、力いっぱいやってきて、感謝されるのかと思ったら、10年を返せという。振り返ってみたら、私は彼に高校は卒業しといった方がいいとか、身体を動かして規則正しい生活をした方がいいとか、服薬は厳守した方がいいとか、指示や指導を繰り返していた。

彼は医者の方の云うことを否定できない。「一般的な普通」を大切にしようとする気



## ■山本昌知先生のこと

### — 共に歩む地域精神医療 —

持ちが強く、それに合わせないといけない、できない、という葛藤を10年間繰り返してきた。

びっくりしていたら、「どうだ、よう返せまい」という。そして、あっさりと「これから先、専門家の前で話す機会があったら、必ずこれを読め」と詩を渡された。その時から人の前で話すときは、その詩をずっと読んでいる。

それはこういう詩である。

#### ■「変わってはいけない」

わたしは何年間もノイローゼでした。わたしは心配し、落胆し、自分のことしか考えませんでした。

皆がわたしに変わるように言いつづけました。

皆がわたしに、わたしはノイローゼだと言いつづけました。

そしてわたしは、皆を恨みました。彼らをもっともだと思いました。

そして変わりたいと願いました。でも変わることができませんでした。

どんなに変わろうと努力しても。

わたしを何よりも傷つけたのは、親友もわたしをノイローゼだと言いつづけたことでした。彼もまた、わたしに変われと言いつづけたのでした。

そしてわたしも、親友の言うことをもっともだと思いました。

でもわたしは、彼を恨めしく思う気持ちを抑えられませんでした。

わたしは気力を失い、何をすることもできなくなりました

それからある日、彼はわたしに言いました。

「変わってはいけない、君のままでいなさい。君が変わろうと変わるまいと、どうでもいいことだ。私はありのままの君が好きだ。君が好きなんだよ。」

これらの言葉は、私の耳に音楽のように響きました。

「変わってはいけない、変わってはいけない、変わってはいけない・・・、わたしは君が好きだ。」

そしてわたしは安心しました。

そしてわたしは生き返りました。そして、ああ、

今、わたしは知っています。

わたしが変わろうと変わるまいと、わたしを愛してくれるだれかをみつけるまで、わたしはほんとうに変わることはできなかったのだということ。

神様、あなたはこんなやり方で、わたしを愛してくださっているのですね？

(アントニー・デ・メロ「小鳥の歌—東洋の愛と知恵」(女史パウロ会、1885年)

#### ■「ジュガール」という言葉

今、注目していることに「ジュガール」という言葉があります。

これはヒンディー語で、充分なものごとが整っていない、体制も何も不十分なものだけれど、そんななかで、目的のために力いっぱい取り組むという意味の言葉。体制、材料、みんな整って、さあやりましょうというのではなくて、あるもので力いっぱいやっていこうという意味合いです。

30点とれる者は30点とる。90点とる人は90点とる。条件によってみんな違うから、それぞれの力で精いっぱいやるとよい。

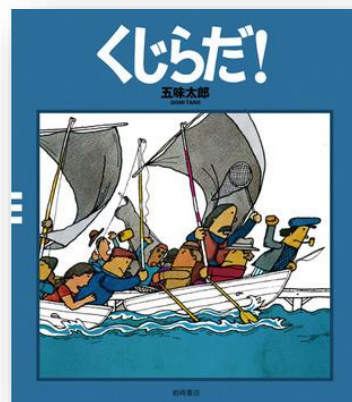
こういう時代だから、みんな逃げる。こういう時代だからしょうがないかと言って逃げる。そうでなくて、できることは力いっぱいすることが大切。今できることが何かあるのではと考えてほしい。

精神の問題というのは、こうしたらこうなるというものではない。条件が整うのは永久にないかもしれない。一緒に悩む、苦しむことができたなら、それも力いっぱいそうしたらいいのではないかと思う。その意味で「ジュガール」という言葉が気に入っているのです。

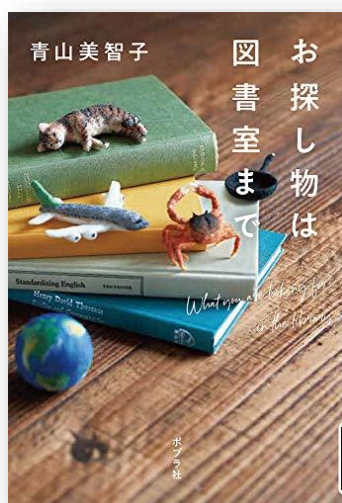
今、山本先生は診察室から発端して「愚痴庵」という場を開催されている。毎月2回(第1月曜日、第3日曜日 13:00~16:00)岡山市岩田町カイロス 2F)にて自由に語り合う場として運営されています。

■阿藤美穂子

先日、倉敷市立美術館で開催されている『五味太郎作品展に行きました。五味さんの作品は、子どもの目線に寄り添ったシンプルで、色彩豊かな絵に親しみを感じます。現在までにおよそ 350 冊以上の著作を出版し、庫内外の絵本賞を数多く受賞しています。今回は、初期の「がいこつさん」から、最近の作品「きをつけて」まで、7つの作品の原画が展示されていました。その中で、1978年の作品「くじらだ！」に心ひかれしました。のんびり飛んでいたわたり鳥が、大きな湖の上で叫びます。「くじらだあ！」、町の人たちは、くじらをつかまえようと大さわぎ。でも全然見つかりません。一体くじらは、どこにいたのかな？



『くじらだ！』  
作：五味太郎  
出版社：岩崎書店



『お探し物は図書室まで』  
作：青山美智子  
出版社：ポプラ社

私は、本屋に行くのが好きです。いろんな本を見てみると、すぐ時間がたちます。たくさんの本の中で、読みたいと思う本に出会った時、とてもわくわくする気持ちになります。また、今回もそんな本に出会いました。とあるコミュニティハウスの中にある図書室に、たまたま訪れた5人の男女。年齢も職業も違う5人が、この図書室の司書、小町さんに紹介されたある本とおまけの羊毛フェルトをきっかけに、人生を変えていきます。小町さんの、「読んだ人が自分自身に紐づけてその人だけの何かを得る」、という言葉に読書のおもしろさを改めて感じることができました。

## ■食卓に吹く風（36） ～永遠のテーマ・ミナマター～

### ■いぶし銀の ジョニー・デップ



映画「MINAMATA—ミナマタ」を観た。

2020年ベルリン国際映画祭で初公開されたアメリカ映画で、水俣病の公式確認(1956年)から65年の今年9月、日本で封切られました。

水俣病・水俣事件をテーマにしながら、主人公はジョニー・デップ演じる写真家ユージン・スミス。舞台は水俣病被害者と原因企業、新日本窒素肥料株式会社(現チッソ株式会社)との対立が表面化していた1970年代前半の水俣市。

ユージン・スミスは妻アイリーン・美緒子と共に水俣病第一次訴訟(69～73年)の原告家族を訪ね歩きました。

ファインダーを通じて、被害者の声なき声を引き出し、代弁しようと、患者家族に心を寄せ、共に闘った様子が描かれています。滞在は当初数ヶ月の予定が、74年まで3年に及びました。

殴られ、フィルムを奪われ満身創疾になりながら撮った写真。母と胎児性水俣病の子の入浴シーンには、息をのみました。神々しいとまで感じるその美しさは、傷つけられながらも輝く命の尊厳そのものだったのでしょうか。

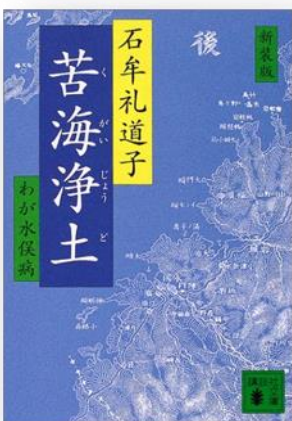
75年にユージン・スミスが妻アイリーンと共に出した「MINAMATA」は、彼の最後の写真集となりました。

その序文には「私たちが水俣で発見したのは勇気と不屈であった。この本を通じて言葉と写真の小さな声をあげ、世界に警告できればと思う」とあります。

映画では制作の側にも立ったジョニー・デップはいぶし銀の貫禄で、他にも真田広之や浅野忠信らが出演し、エンターテイメントに仕上がっています。

「エンタメは多くの人にメッセージを届けるツール」とアンドリュ・レビタス監督が語るように、ユージン・スミスの思いのこもった仕事が、広く世界に届くよう願います。

### ■『苦海浄土 わが水俣病』から



作家石牟礼道子さんは水俣を故郷にもち、水俣病の初期から状況を目撃し、つぶさに丁寧に記録しつつ、その表現に生涯を捧げた人です。

患者や家族から引き出す、熊本弁の魂の言葉は、石牟礼さんを通して切ない詩のように伝わってきます。美しい不知火の海と人々を深く愛していたからこそ、使命感がエネルギーとなって彼女を突き動かしたのでしょうか。

昭和29年から当地方において散発的に発生した四肢の痙攣性失調性麻痺と言語障害を主症状とする原因不明の疾患に遭遇した。ところが本年4月から同様の患者が多数発見され、特に月の浦、湯堂地区に濃厚に発症し而も同一家族内に数名の患者のあることを知った。なお発生地区の猫の大多数は痙攣をおこして死亡したとのことである。よって只今までに調査して約30例を得たのでその概要を記述する。

これは1956年に熊本県衛生部予防課が、初めて厚生省に水俣病の報告をしたものです。激症性のは発病から約1ヶ月で死亡にいたり、30名中11名が死亡とあります。

1965年には患者111名を数え39番目の死者が。以後胎児性の患者も多発しました。1959年には熊本医学部の研究班が、原因と考えられるのは「水俣湾でとれる魚介類に含まれるある種の有機水銀が有力」との中間報告を発表。

チッソ株式会社による湾内の汚染を指摘して以降、不知火海岸全域の漁民生活の困窮が始まったのです。工場側はこれを否定し、工場排水は流され続けたのでした。

患者や漁民が放置され続けたのは、水俣がチッソ株式会社の企業城下町で多くの市民を雇用し、税収の大部分をその関係から得ていたことも関係します。

そこから分断と差別やタブーが生まれました。政治や経済という強大な力に、命や人格が踏みにじられた時、どう対峙するのか。

福島の原因問題も根っこは同じで、人間社会が常に直面するどこまでも大きなテーマだと思います。水俣の裁判はまだ続いています。(石井広子)

# ■ハーモニーネット未来からのお知らせ

(問い合わせ：0865-63-4955)

## 12月からの予定

インターネットから

ハーモニーネット未来 検索

クリック

※ホームページでも右記の予定を  
みることができます。



日程	時間	内容
12/11(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
12(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
13(月)	10:30～	子育てひろば「あおぞら」「ぴゅあちっち」(事務所2F)
14(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
15(水)	10:30～	おはなしの会(事務所2F)
17(金)	10:00～	ふれあいひろば「虹」in富岡
18(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
19(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
21(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
22(水)	10:30～	おはなしの会(事務所2F)
24(金)	10:30～	子育てひろば「あおぞら」とひよこクラブ合同「クリスマスパーティ」
29(火)～2022.1.4(火)		事務所お休み
1/8(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
9(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
11(火)		子育てひろば「あおぞら」スタート
	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
12(水)	10:30～	おはなしの会(事務所2F)



※予定が変更する場合があります。ハーモニーネット未来  
(TEL0865-63-4955)までお問い合わせください。  
※事務所とは、ハーモニーネット未来のことです。  
※「ぴゅあそーる」(事務所2F)毎週火曜日 10:00～  
※移動ひろば「あおぞら」 毎週火・木曜日 10:00～  
※「おはなしの会」 毎週水曜日 10:30～、  
※「お誕生日会」 毎月最終水曜日  
(おはなしの会終了後)

**「レシート1枚」でできる支援!**

**毎月11日はイエローレシートの日**

買い物をしたら、店内設置のボックスに  
黄色いレシートを入れてください。  
1%が、ハーモニーネット未来に寄付されます。

**場所：マルナカ笠岡店**



## 2022年度 舞台鑑賞決定!!

作品名	ジャンル	創造団体	公演日(予定)	会場(予定)
内容未定			2022年 5月(日程未定)	笠岡市保健センター ギャラクシーホール
語り芝居 銀河から野原から	舞台劇	劇団むう	9月9日(金)	
わいてくるくるおんがっかい	音楽	ロバの音楽座	11月12日(土)	
カボとピノ	人形劇・影絵劇	人形劇団ココン	2023年 5月13日(土)	